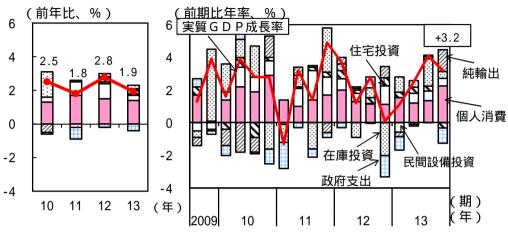
1.アメリカ

アメリカでは、景気は緩やかに回復している。

実質GDP成長率(1次推計値) 2013年10~12月期は前期比年率+3.2%成長



(備考) 2013年10~12月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費:2.3、民間設備投資: 0.5、住宅投資: 0.3、在庫投資:0.4、政府支出: 0.9、純輸出:1.3。

07

80

09

10

11 l

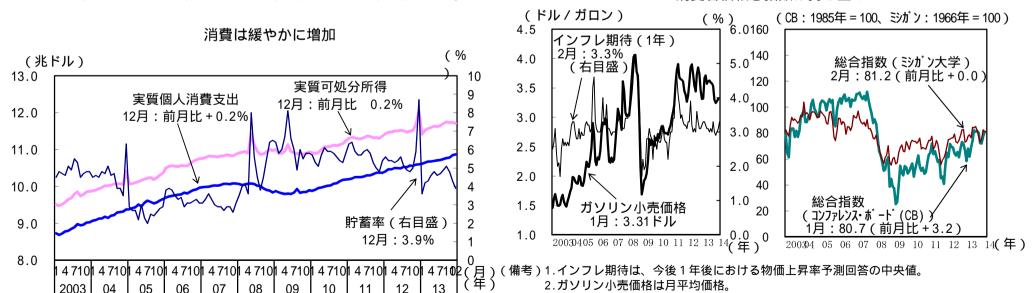
(年率、万台) 2.100 平均年間販売台数 (99~08年)_\ 自動車販売台数 1月:1,516万台 1,900 1.644万台 (前月比 0.9% 1,700 1,500 1,300 1,100 900 自動車国内生産台数 700 1月:1,062万台 (前月比 8.7%) 500

自動車販売台数はこのところ減少

消費者信頼感指数は持ち直し

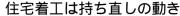
08

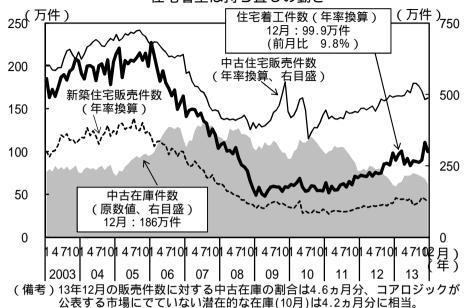
10



300

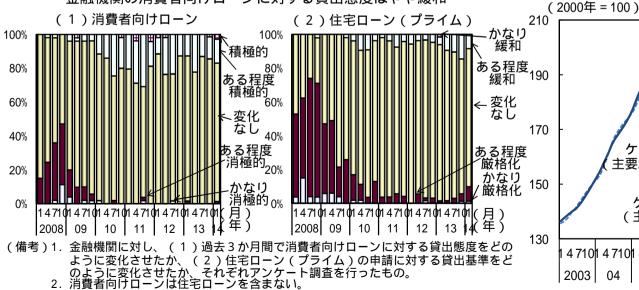
家計のバランスシート調整は進展 (<u>%</u>)₁₄₀ %) 30 債務残高 可処分所得比、右目盛) 傾向線 (80~01年) 120 25 20 100 15 80 債務負担感 上昇 10 60 傾向線 (80~01年) 元利返済負担率 (可処分所得比) 5 0 20 瞿} 2000 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 (備考)1.網掛け部分は景気後退期を指す。





金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。



11月 前月比(季調値) : +0.9% 前年同月比(原数値): +13.7% ケース・シラー指数 主要20都市、季節調整値 ケース・シラー指数 (主要20都市、原数値)

80

09

10

11

2003 l

04

05

06

07

住宅価格は上昇

④設備投資は持ち直し ⑤生産は持ち直し (前期比年率、%) (%) (指数、2007年=100) (%) 107 20 鉱工業生産指数 (総合) 機械・機器投資寄与 鉱工業生産指数 前月比 1月: ▲0.3% (総合) 102 (製造業) 10 78 前月比 1月: ▲0.8% 97 鉱工業生産指数 (製造業 74 92 知的財産投資寄与 -2 -10構築物投資寄与 70 コア資本財受注 87 -4-20(前月比、3か月移動平均、右目盛) 民間設備投資 82 -30-6 (製造業、右目盛) 13年IV: +3.8% 1月: 76.0% 77 -40(月) (期) 2003 | 04 07 09 10 (年) 景況指数は低下 ⑥財輸出は底堅く推移 (億ドル) -1000 80 (D. I.) (億ドル) 2, 100 製造業 (新規受注) 財・サービス貿易収支 -900財輸入(右目盛) 1,900 (逆目盛) 1月:51.2 70 -8001,700 -70060 1,500 -60050 -5001,300 非製造業 -4001, 100 (総合) 40 -3001月:54.0 900 製造業 -200(総合) 財輸出(右目盛) 30 700 1月:51.3 12月:▲3.6%(前月比) -1000 500 20 . 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 4 7101 (月) 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| 4 710|| (月)

(年)

(備考)財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

